

令和7年度当初予算の主な内容

※事業費の（ ）内は一般財源



みんながいきる

人と自然が共生する持続可能なまちに



駅前の活性化・周辺整備

- ① 中央通り側道の空間再編の検討【都市政策課】 14,080千円（7,020千円）

ひと中心の歩きやすく歩きたくなる空間を形成するため、沿道事業者等との協議等を進めながら中央通り側道空間の再編に向けた社会実験等を実施する。

【財源：国 7,040】

- ② 市民会館跡地第二期整備エリア等の推進【公園緑地課】 14,985千円（14,985千円）

市民会館跡地エリア（C・Dエリア）のさらなるにぎわいを創出するため、第二期整備エリアの整備事業者選定へ向けた要求水準書の作成等を行う。

駅前の活性化・周辺整備

- ③ 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備の推進【市街地新生課、道路課】 21,591千円（21,591千円）

歩いて楽しいまちの起点となる駅前空間を実現するため、駅前広場改良等の総合調整を行うとともに、西口連絡デッキの改修に向けた基本設計等を行う。

北部地域のプロジェクト

- ④ 安威川ダム周辺整備事業【北部整備推進課】 45,683千円（22,982千円）

手数料、委託料、工事、負担金【財源：国 17,801、市債 4,900】



らしさをいかす

次代の茨木を担う人を育むまちに



保育環境等の充実・学童保育

- ① 私立保育所等の建設補助【保育幼稚園総務課】 264,253千円（52,805千円）

待機児童の解消と保育環境の充実を図るため、認定こども園の新設等に係る費用を補助する。

補助金・令和7年度当初予算分【財源：国 211,448】

学校教育の充実

- ② 児童生徒用GIGA端末の更新【教育センター】 1,668,076千円（711,883千円）

個別最適で協働的な児童生徒の学びを実現するため、GIGAスクール構想第2期に対応する1人1台端末の更新を行う。

＜債務負担行為＞[期間] 令和7年度～令和12年度 [限度額] 76,018千円
【財源：府 956,193】

学校給食の推進

- ③ 中学校全員給食の通年実施【学務課】 1,087,614千円（1,031,723千円）

栄養バランスのとれた給食を提供することにより生徒の健全な心身の発達を図るため、中学校給食を通年で実施する。【財源：諸 55,891】

スポーツの推進

- ④ 多目的運動広場等の整備【スポーツ推進課】 469,277千円（28,177千円）

スポーツ環境の充実や競技人口の増加を図るため、ダムパークいばきたにサッカー競技等の公式規格を満たした多目的運動広場を整備する。

工事（土木工事（継続費 1,154,000 <令和7年度 461,600千円、令和8年度 230,800千円、令和9年度 461,600千円>）、負担金【財源：国 188,000、市債 253,100】

3 福祉

いのちを守る

ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに



地域医療

- ① 急病診療所における障害者歯科診療の実施【健康づくり課】 14,090千円 (14,090千円)

障害者の歯科診療の受診機会を拡充し、さらなる歯科口腔保健の推進を図るため、保健医療センター急病診療所において障害者の歯科診療を実施する。

<開始日>令和7年10月～(予定)

<実施場所>保健医療センター1階歯科診療室

<実施日>毎週水曜日(午後2時～4時)

地域福祉・生活困窮

- ② 北保健センターの開設【福祉総合相談課】 18,303千円 (11,814千円)

地域共生社会の実現と市民の健康づくりを推進するため、北圏域において、地区保健センターを開設する。【財源：国 3,671、府 1,835、繰入金 983】

4 経済

活気あふれる

都市活力があふれる心豊かで快適なまちに



商工業振興

- ① オープンカンパニーの充実【商工労政課】 8,058千円 (4,029千円)

農業の担い手の確保・育成を推進するため、就農支援塾あぐりばを開催し、農業経営に係る必要な知識や技術を指導する。【財源：府 3,000、諸 165】

文化振興

- ② 文化芸術活動の活性化に向けた「つどい、つながる文化の会議」の充実【文化振興課】 6,638千円 (3,319千円)

文化的コモンズの形成を促進するため、文化芸術を通じて交流をつなぐ場となる「つどい、つながる文化の会議」の回数を充実する。【財源：国 3,319】

5 安全

いざ、に備える

ともに備え命と暮らしを守るまちに



防災

- ① 災害用備蓄物資の拡充【危機管理課】 21,459千円 (21,459千円)

発災初期において迅速かつ確実に物資対応を図るため、大阪府備蓄方針の改定等を踏まえ、携帯トイレ等の備蓄物資を充実する。

消防・救急

- ② 消防救急デジタル無線システムの中間整備等【警備課】 164,886千円 (47,686千円)

消防救急活動における確実な通信体制を確保するため、デジタル無線システムの中間整備を行うとともに、無線交信が困難な不感地域に対応する消防団用のIP無線機を導入する。【財源：市債 117,200】



対話

議論を重んじる

対話重視で公平公正な市政運営

共創のまちづくり

- ① 茨木版共創デザインブックの作成【共創推進課】 7,722千円 (3,861千円)

多様な主体とともに市の特徴を活かした共創を推進するため、茨木版共創の方向性等をまとめた共創デザインブックを作成する。【財源：国 3,861】